

栗原の稲作通信

【収穫時の長雨対策】

発行 宮城県米づくり推進栗原地方本部

栗原農業改良普及センター(令和 8 年 9 月 11 日発行)

栗原管内は本格的な稲刈り時期を迎えましたが、秋雨前線の影響により、今後も長雨が続くことが懸念されます。刈り遅れなどによる品質低下を避けるため、下記の点に留意しながら、適期収穫に努めましょう。

【出穂後積算気温から予想される刈取適期(ひとめぼれ)】

時期	出穂期					
	7/29	8/1	8/4	8/7	8/10	8/13
刈取早限	9/6	9/9	9/11	9/14	9/17	9/21
刈取適期	9/8	9/11	9/14	9/17	9/20	9/24
刈取晩限	9/11	9/14	9/17	9/20	9/25	9/28

※ 築館アメダスを活用して、積算気温より時期を推定しています。

- ・出穂後の低温傾向により、刈取適期のほ場間格差が大きくなっています。
- ・籾の 80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から約 1/3 程度黄変した時が成熟期となります。ほ場ごとに十分確認した上で刈取適期を判断しましょう。

【収穫に向けた準備】

田んぼが早く乾くよう、排水口を開放して水を抜くとともに、排水口が草や泥で詰まっていないか確認してください。

【倒伏時の対応】

倒伏したほ場では穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに刈りましょう。

【乾燥調製】

雨天の合間に刈り取った粳は、通常よりも水分量が高くなります。そのまま放置すると発熱して変質米になることから、刈取後は一刻も早く乾燥機に入れて常温送風及び循環をしてください。

高水分の粳を高温で急激に乾かすと、胴割米が多発します。二段乾燥(粳水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間の送風循環後に仕上げ乾燥する)を行い、品質低下を防止しましょう。